

## 気象技術講習会開催のお知らせ

(社)日本気象学会は、(財)気象業務支援センターと共催で、気象予報士や民間の気象業務従事者などを対象とした講習会を以下の要領で実施する。

1. 講習会名称：気象専攻課程講習会「台風」
2. 講習内容：台風について最先端の研究者及び実際の予報担当者が、台風の構造やその予報について解説する専門講座で、その内容は、以下の通り。  
「台風概論」「台風の生涯」「衛星画像による台風解析」「台風の予報」「高潮の予報」「台風災害」
3. 期間・時間：平成17年  
2月3日(木) 09時30分～16時30分  
2月4日(金) 09時30分～16時30分  
(講習終了後、レポートを提出して頂き、合格者に「修了証」を発行する)
4. 受講料：1人 20,000円(教材費込み、税込み)
5. 講習会場：(財)気象業務支援センター 4F 会議室  
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル  
(地下鉄東西線竹橋駅下車徒歩3分)

6. 定員：35名(定員になり次第締切)
7. 申込締切：平成17年1月28日(金) 当日消印有効
8. 申込方法：「台風講習会」受講希望と明記し、必要事項(住所、氏名・ふりがな、電話番号、勤務先/学校名、年齢)を書いて、以下の申込先にハガキまたは Fax あるいは E-mail で申し込んでください。
9. 申込先：〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-17  
東ネンビル  
(財)気象業務支援センター「台風講習会」係  
Fax：03-5281-0446  
e-mail：kousyuu@jmbisc.or.jp  
詳細は(財)気象業務支援センター  
(<http://www.jmbisc.or.jp/>)  
及び(社)日本気象学会ホームページ(<http://www.soc.nii.ac.jp/msj/>)に掲載。案内書は上記申込先にハガキまたは Fax で請求してください。

## 2004年度秋季大会の報告

2004年度秋季大会は、アクロス福岡(福岡市中央区天神)を会場として2004年10月6日(水)～8日(金)に行われた。参加者数(前納登録者と当日受付者の合計)は729名(一般会員477名、学生会員147名、非会員90名、シンポジウムのみ無料参加者15名)であった。

2日目午後には、アクロス福岡国際会議場において山本・正野論文賞が須藤健悟会員と田口正和会員に、堀内賞が福西浩会員と若土正暁会員に、奨励賞が中村直治会員と箕輪敏行会員にそれぞれ授与された。授賞式のあと、廣田勇理事長による「新しい観測のもたらすもの」と題した学術講演があり、続いて山本・正野論文賞及び堀内賞の受賞記念講演が行われた。引き続き、大会シンポジウム「極東域の温帯低気圧」が行われた。

講演は特定のテーマによる3件のスペシャルセッションと一般口頭セッション及びポスターセッションで行われた。講演申込み件数は510件と初めて500件を超え、春季大会も含めて過去最高となった。その内訳はスペシャルセッションを含めた口頭発表が366件、ポスター発表が144件であった。

会期中およびその前日と翌日には、個別のテーマによる研究会が6件開かれた。

最後に、今大会事務局として大会準備・運営にご尽力頂いた福岡管区気象台、九州大学、(財)日本気象協会九州支社をはじめとする九州支部の皆様深く感謝の意を表します。

2004年11月 講演企画委員会